



175

小学校高学年向け 年組

(2023年8月17日付・下野新聞5面)

記事は加工しています

AI 高齢者の話し相手に

高齢者や患者の話し相手に人工知能(AI)を利用する試みが進んでいる。タブレットの画面に映ったキャラクターが、ベンチャー企業が独自開発したAIにより、人間のように自然な受け答えをする。コミュニケーションの機会を増やすほか、安否確認や健康管理

に生かすのが狙い。AIと交わした会話データから認知症などの把握に役立てる計画もある。

AIの「どんな本を読むの?」という問いかけに、「推理小説」と答え

へ活用

る。脳の病気のリハビリと入浴のため、デイサービスなどを提供する雅小杉(富山県射水市)を訪れた坂本美穂さん(58)は7月、AIキャラクター「日向メイ」と趣味の読書について会話を弾ませていた。

AIキャラクターはITベンチャー「RATH」意な「チャットGPT」

ベンチャー独自開発

(ラース)「(東京)が開発した。文字をタッチパネルに打ち込むチャット機能を使って会話をするが、今秋から音声で会話をできるようにする。

介護施設の職員は日常の業務に追われ、利用者と接する時間を十分に確保できないことが多い。ラースはAIキャラクター

のようAIをそのまま使うのではなく、日本語の短い言葉でも、情緒的なやりとりができるAIを開発したい」と意気込む。

ITベンチャー「ウェルヴィル」(東京)はAIキャラクターが高齢者と会話を交わすことで、健康を管理するシステムを

開発している。年内に一部を実用化する予定だ。AIキャラクターが「肩の痛みはどうですか」などと高齢者に話しかけ、「違和感がある」といった回答を記録する。家族とデータを共有すれば、安否確認に活用できる。「天気がいいので出かけませんか?」など、何げない会話で孤独感を減らすのも目的だ。声の周波数などを調べて心身の変化を察知することを考えている。

ウェルヴィルの山崎満帆さん(30)は「スマートフォンが苦手な人でも使えるよう、ボタン一つでテレビ画面にキャラクターが登場し、会話できるようなシステムを開発している」と話す。「検査ではなく、日常会話から心身の異変をチェックできれば、病気の予兆を早期に把握しやすくなる」と説明している。

設 問

【1】見出しの□に入る二つの四字熟語を記事の本文の中から探して書きましょう。

【2】ベンチャー企業が開発したAIキャラクターについて説明した①～④について、記事の内容に合う文には○、ことなる文には×と答えましょう。

- ①写真に写っているキャラクターは「日向メイ」といい、人間と会話を交わすことができる。
- ②「日向メイ」は、日常の業務に追われ、利用者と会

話する時間を十分に確保できない介護施設の職員の代わりになれると期待されている。

- ③ウェルヴィル社は、高齢者との会話データを記録し、家族とデータを共有できるAIキャラクターを開発している。
- ④ウェルヴィル社は、さらに、スマートフォンが苦手な人でも使えるよう、声をかけるだけで画面にキャラクターが登場し会話できるシステムを開発中だ。

【3】記事で紹介されているような「人間と会話ができるAI」について、あなたの考えを書きましょう。